

2020 年 5 月 26 日

会社名 株式会社インフォネット
(コード：4444 マザーズ)
住 所 東京都千代田区大手町 1-5-1
大手町ファーストスクエアウエストタワー 2F
代表者 代表取締役社長 岸本 誠
問合せ先 担当者 平塚 友香
電話番号 03-5221-7591

<マザーズ> 投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

○ 開催状況

開催日時：2019 年 5 月 19 日 11:00～12:00

開催方法：オンライン配信による説明会

開催場所：株式会社インフォネット東京本社（東京都千代田区大手町 1-5-1）
よりライブ配信

説明会資料：2020 年 3 月期通期決算説明資料

【添付資料】

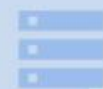
1. 決算説明会において使用した資料（2020 年 3 月期通期決算説明資料）

infoNet®

株式会社インフォネット

STOCKCODE:4444

2020年3月期 通期決算説明会



ONE STOP SERVICE

InfoNet Inc. All Rights Reserved.

1. 2020年3月期 通期決算概況 p.3
2. SUMMARY p.14
3. 2020年3月期 TOPICSダイジェスト p.17
 TOPICS振り返り
 第4Q NEW TOPICS
4. 2021年3月期の事業活動について p.25
5. 当社が向かう未来 p.31
6. 当社が大事にしていること p.34

1 2020年3月期 通期決算概況

ONE STOP SERVICE



当社の大きな強み、
それは**ワンストップサービス**。

調査・分析から
デザイン・システム開発、
運用サポートまですべて一貫して行い
安定性の高いサービスを提供することで
お客様から絶大なご支持をいただいています。

プラスαの
成果創出へ



当社の収益構造

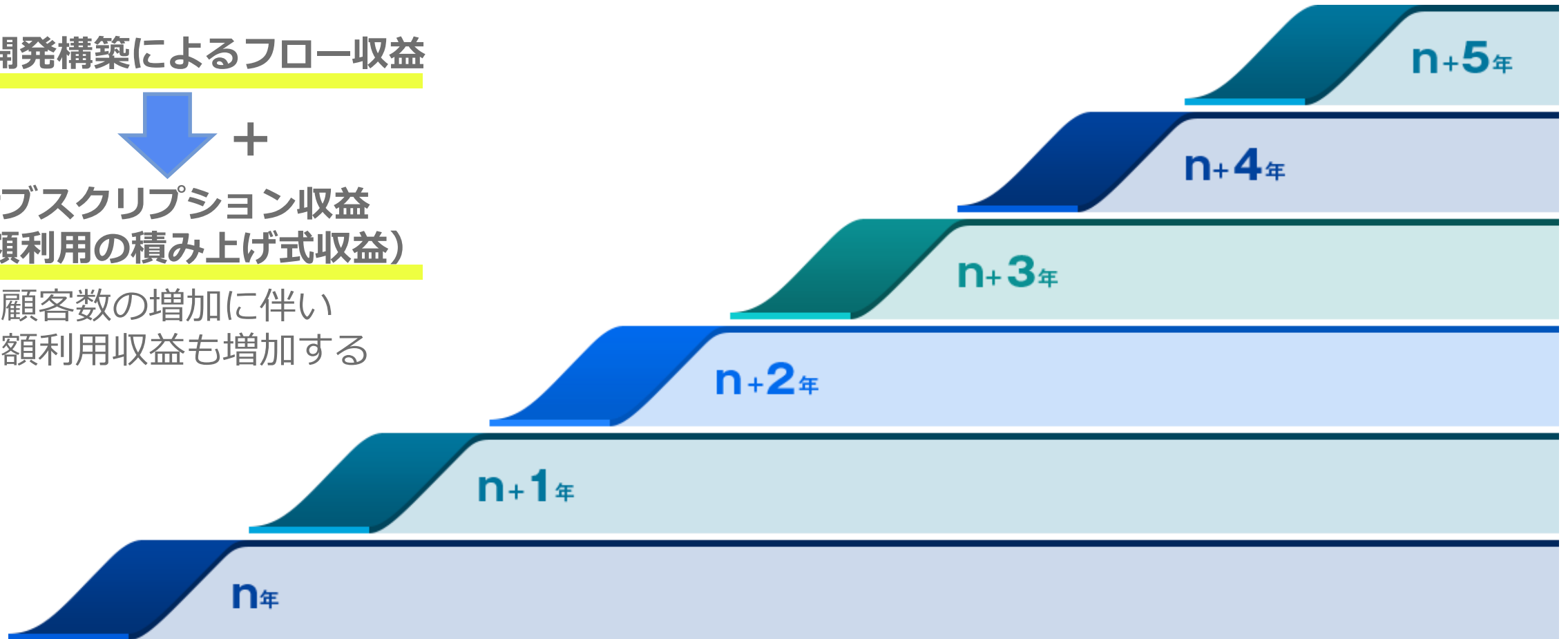
受託開発構築によるフロー収益



+

サブスクリプション収益
(月額利用の積み上げ式収益)

顧客数の増加に伴い
月額利用収益も増加する



CMS事業

第4Q累計売上高
749,694千円
を達成

AI関連事業

新規案件の積み上げ
により月額利用収益が
前期を13,313千円
上回る
大幅増加

月額 利用収益

前期を12.4%上回る
367,900千円を達成
(第4Q累計)
CMS/AIとも
昨対比増収

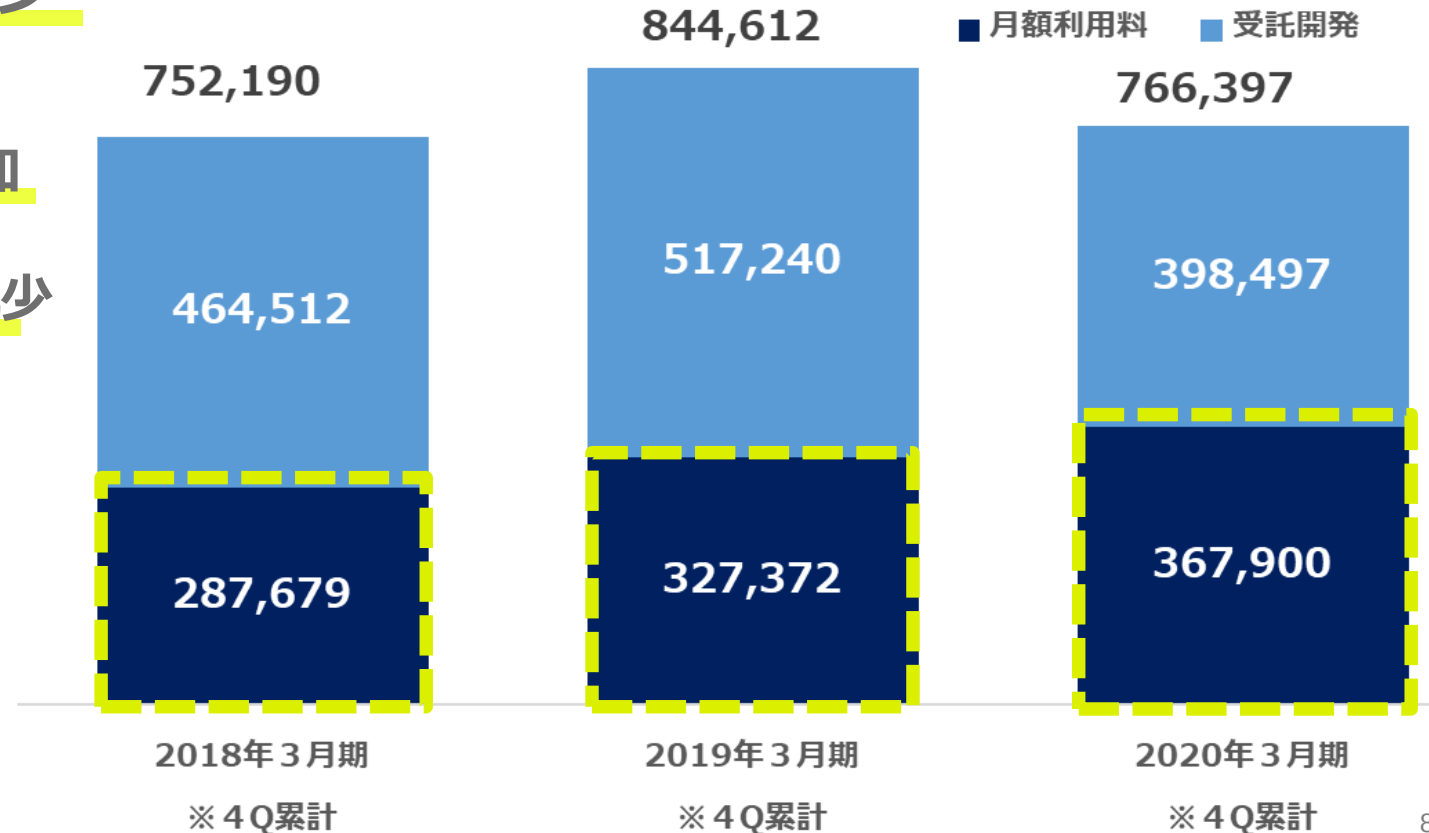
受託開発 受注高

前期を9.9%上回る
508,762千円を達成
(第4Q累計)
4Q単体では前期比
217.7%の大幅増

売上高実績（前期比）

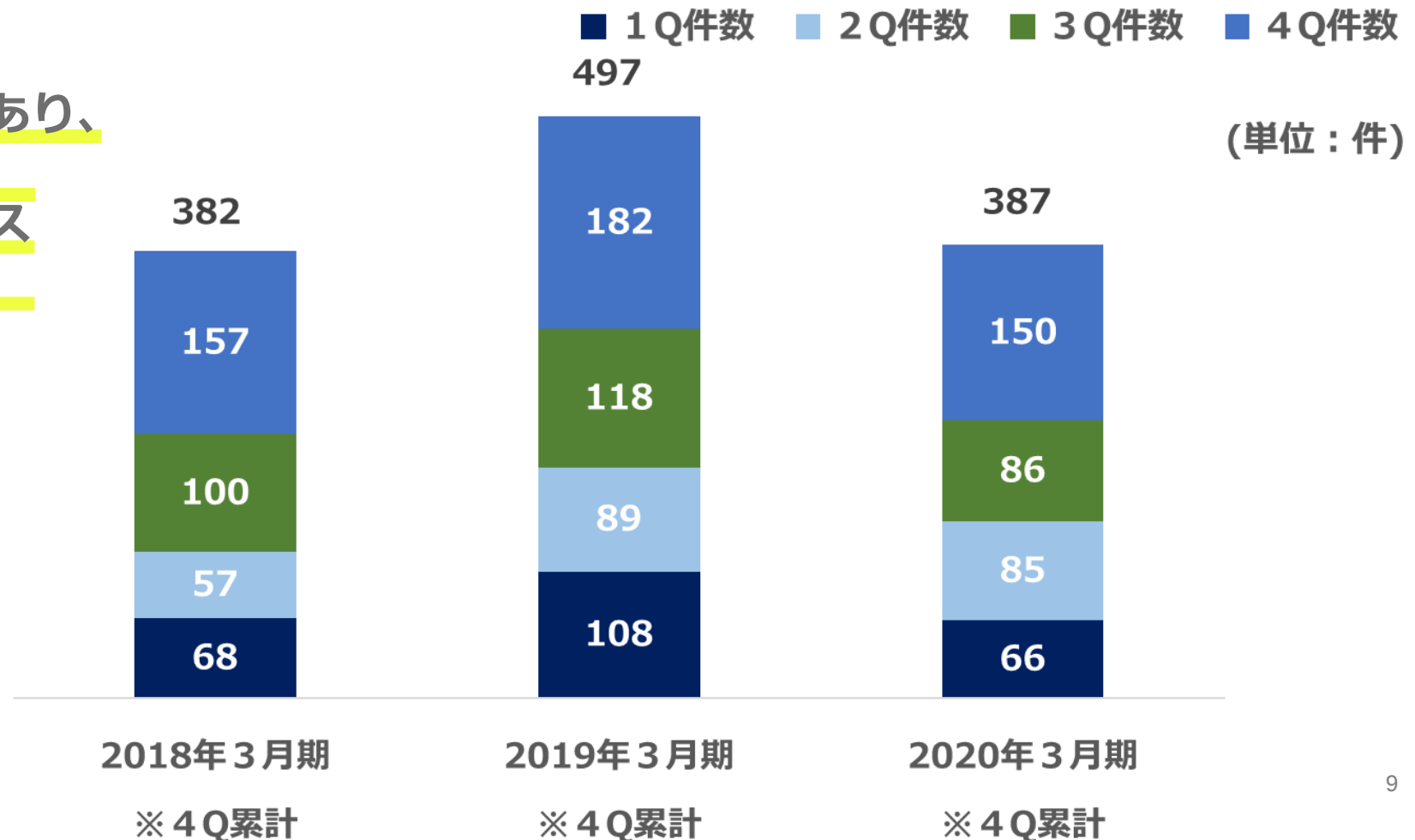
前期に対し、▲78,215千円の減少
（前期比 ▲9.3%）

- ・ 月額利用料収益は40,528千円の増加
（前期比 +12.4%）
- ・ 受託開発売上は▲118,743千円の減少
（前期比 ▲23.0%）



受託開発売上(納品)件数実績 (前期比)

前期に対し、▲110件の減少
受注案件規模が大型化の傾向にあり、
リードタイムが長期化している
ことに加え、新型コロナウイルス
の影響により顧客の企業活動の
ペースダウンが影響

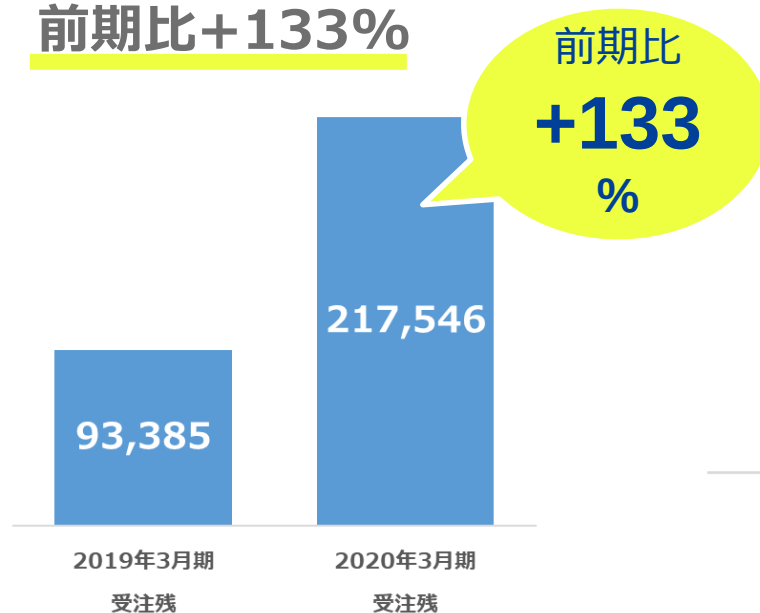


受託開発受注高実績（前期比）

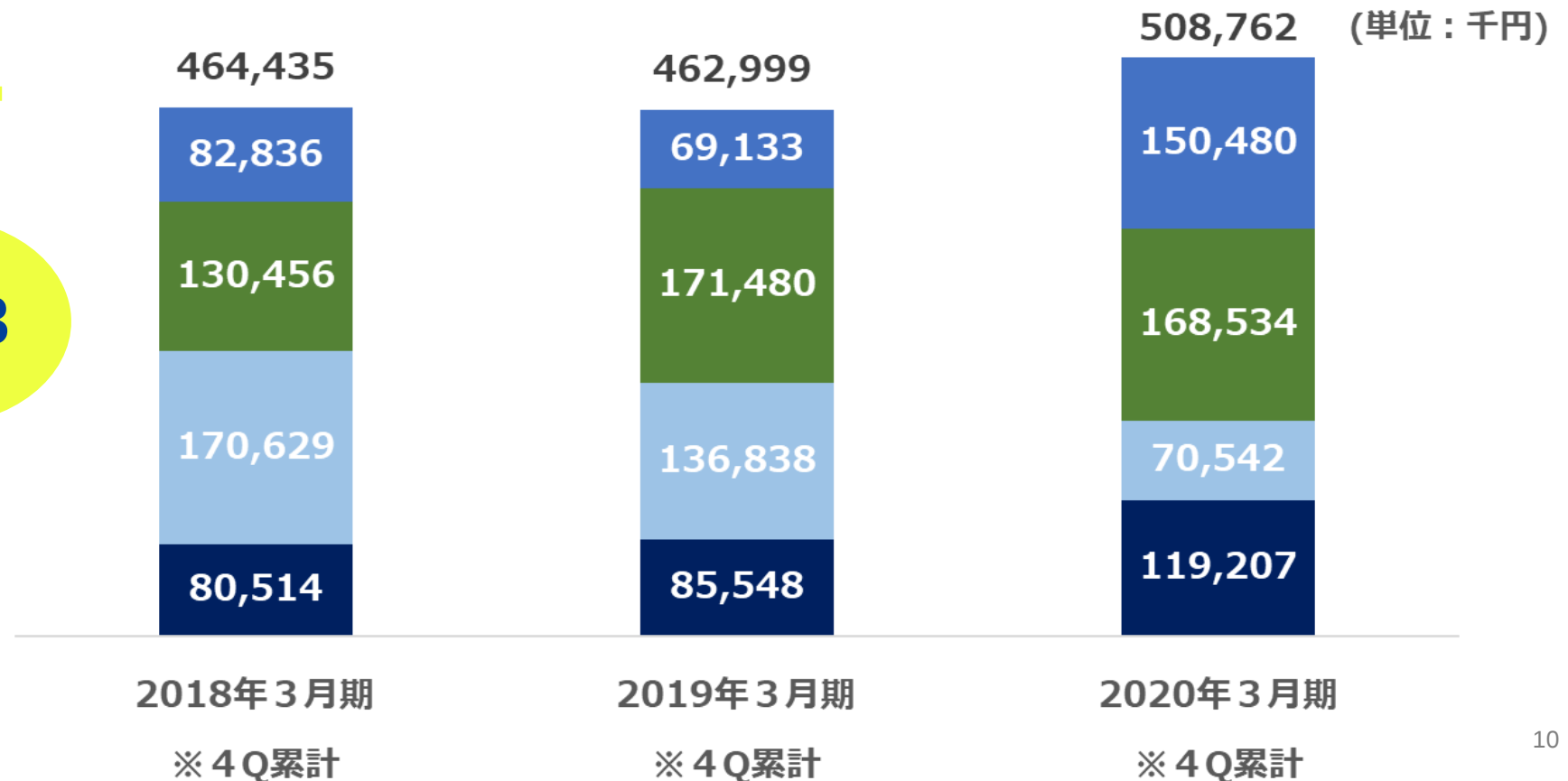
前期に対し、45,763千円の増加
（前期比 +9.9%）

4 Q昨対比 217.7%

3月末時点受注残
前期比+133%

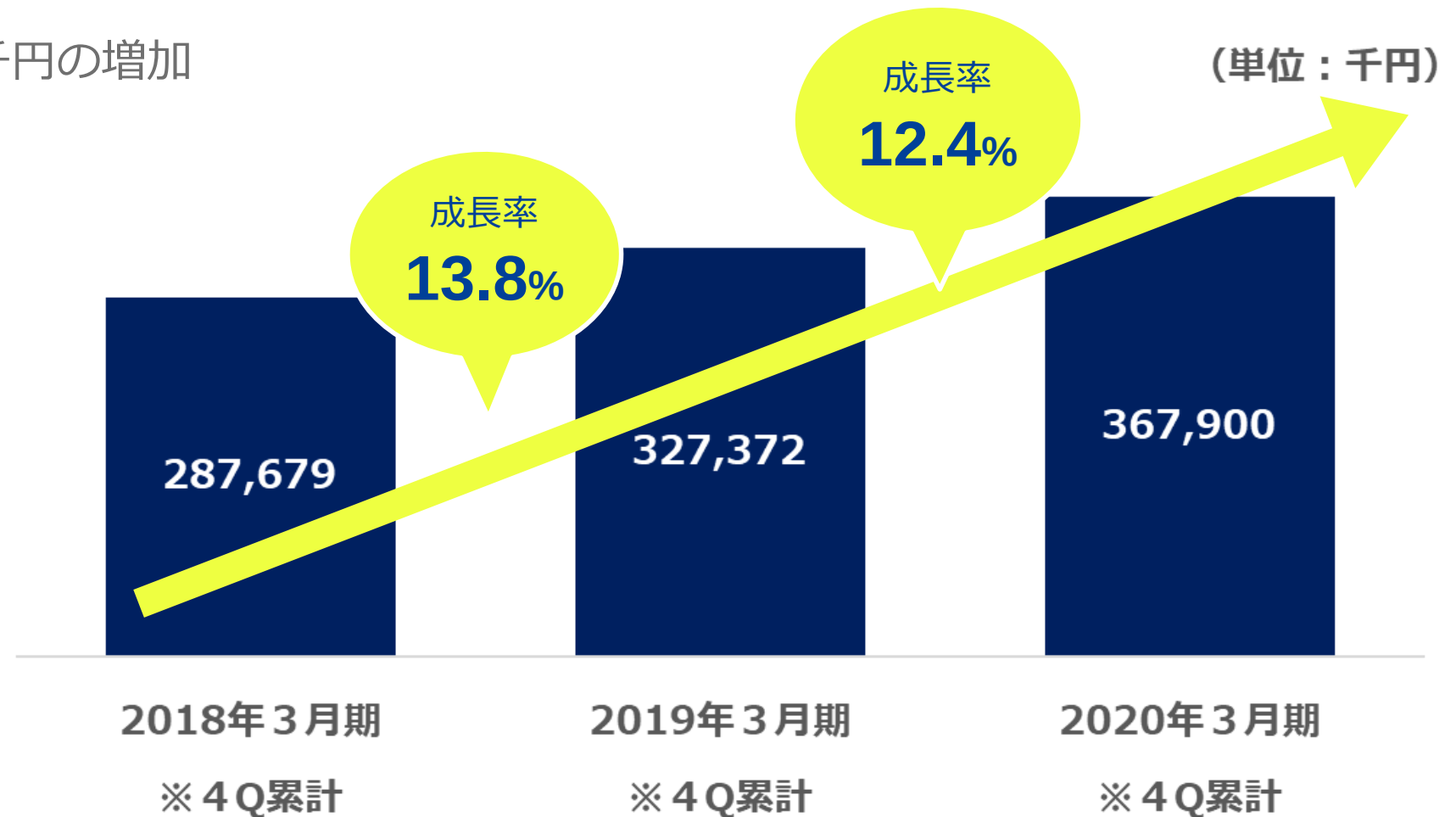


■ 1 Q金額 ■ 2 Q金額 ■ 3 Q金額 ■ 4 Q金額



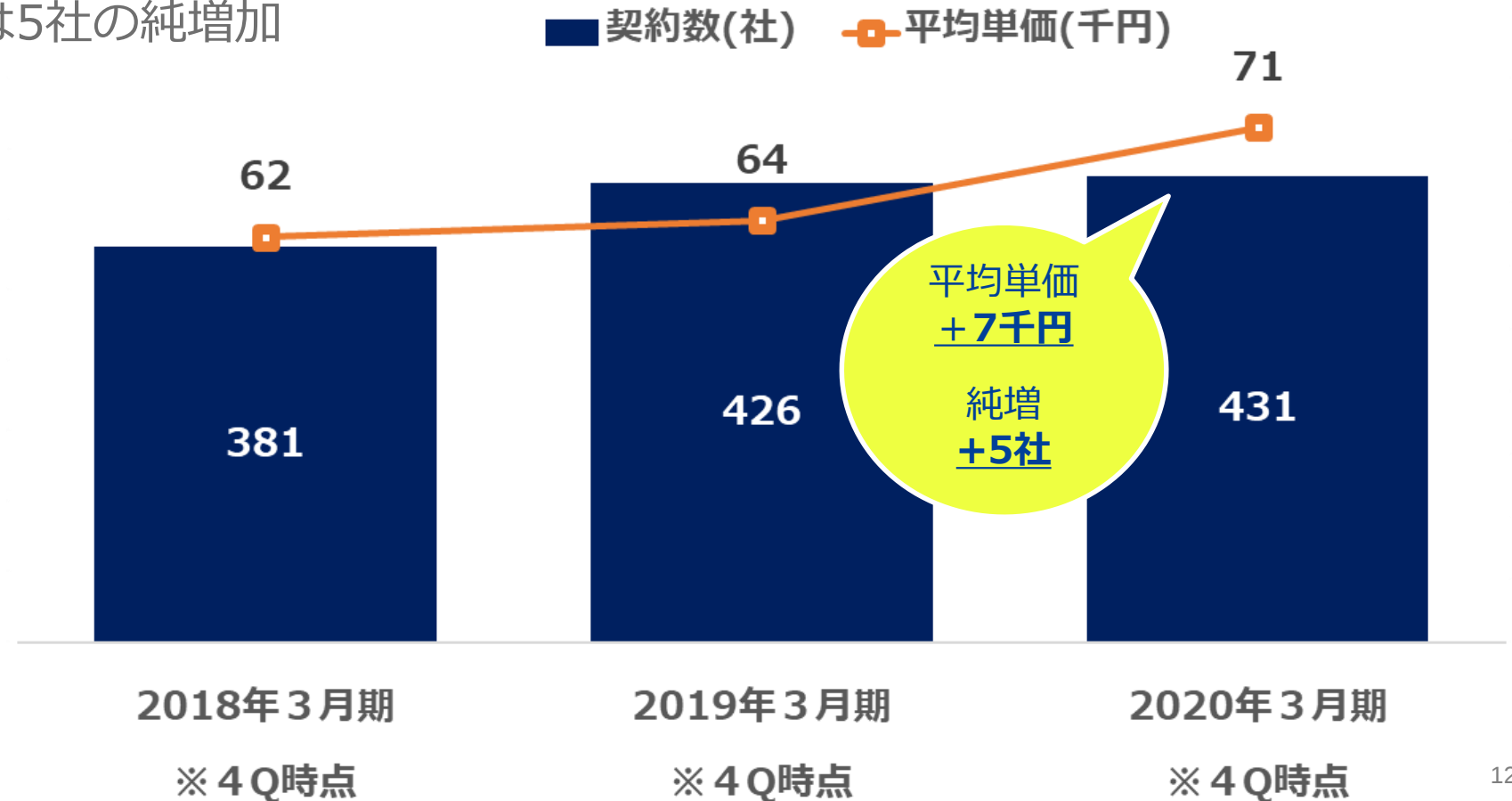
月額利用収益実績累計（前期比）

前期に対し、40,528千円の増加
成長率12.4%



月額契約社数推移 (前期比)

前期に対し、月額契約社数は5社の純増加
平均単価は7千円の増加

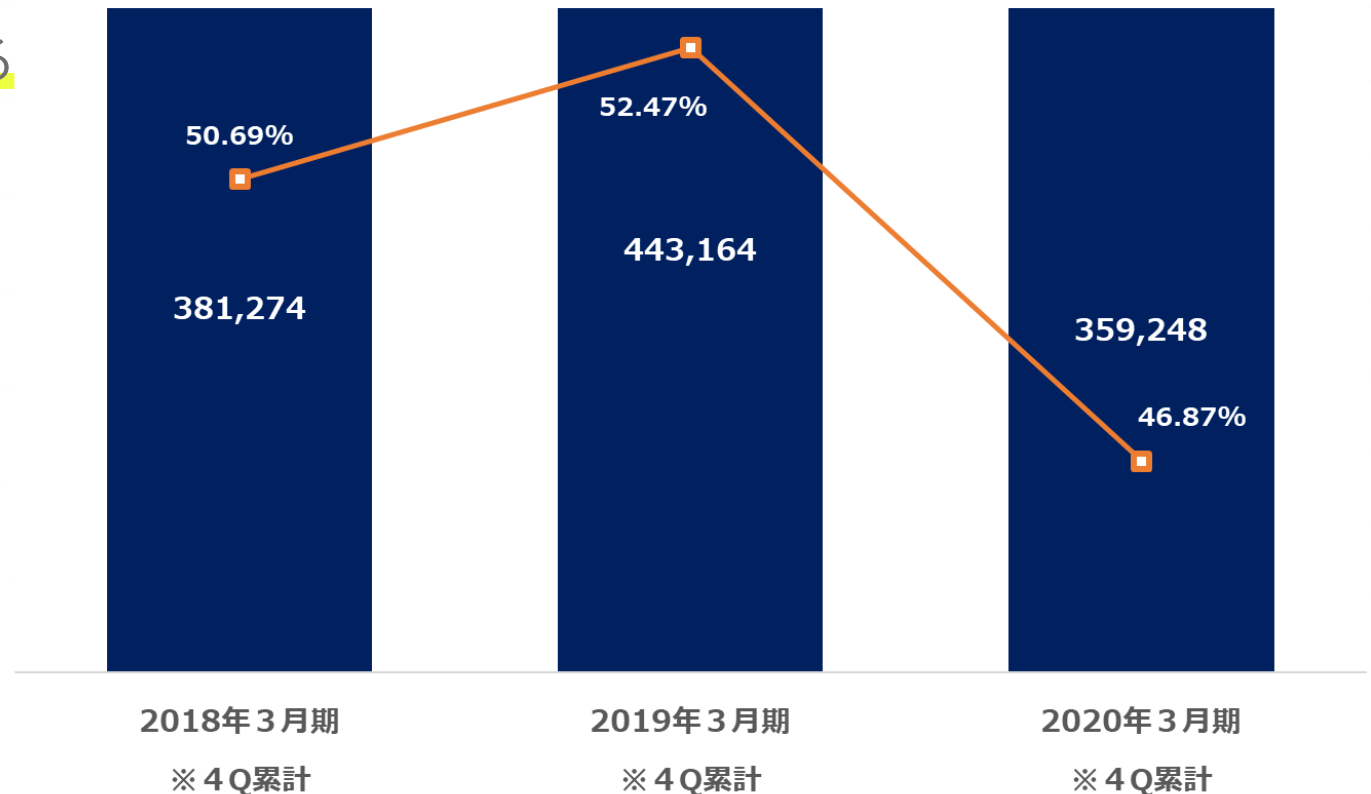


売上総利益実績 (前期比)

■ 売上総利益 □ 売上総利益率

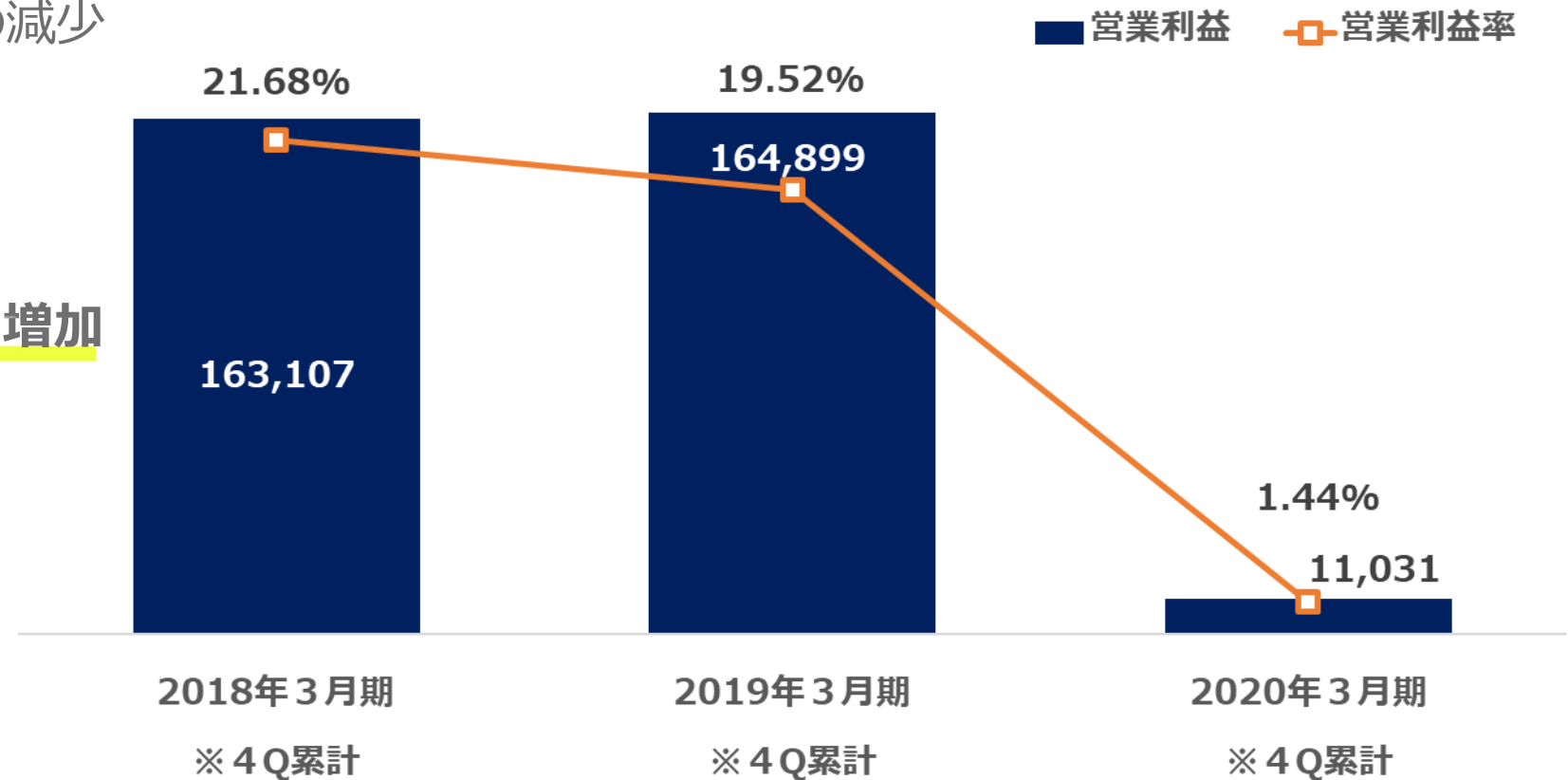
前期に対し、▲83,916千円の減少
(前期比 ▲18.9%)

売上高の減少に加え、納期の集中による
外注費の増大が主因



営業利益実績（前期比）

前期に対し、▲153,868千円の減少
売上総利益の減少に加え
販管部門人員の増員や
採用関連費用の増加など、
**業容拡大を見据えた先行投資と
IPO関連の支払報酬等管理費用増加**
が要因



2. SUMMARY

サマリー

(千円)	2019年3月期 4Q	2020年3月期 4Q	増減額
流動資産	567,169	915,434	348,265
固定資産	132,471	129,213	▲3,258
資産合計	699,640	1,044,648	345,008
流動負債	233,792	130,504	▲103,288
固定負債	53,517	90,093	36,576
負債合計	287,310	220,598	▲66,712
資本金	53,000	258,620	205,620
資本剰余金	33,000	238,620	205,620
利益剰余金	326,330	326,809	479
純資産合計	412,330	824,049	411,719
負債・純資産合計	699,640	1,044,648	345,008

(千円)	2018年3月期 4 Q	2019年3月期 4 Q	2020年3月期 4 Q	増減額
売上高	752,191	844,611	766,396	▲78,215
CMS事業	752,191	819,886	749,694	▲70,192
AI関連事業	—	24,725	16,702	▲8,023
売上総利益	381,275	443,163	359,247	▲83,916
売上総利益率	50.69%	52.47%	46.87%	▲5.6Pt
営業利益	163,108	164,898	11,030	▲153,868
営業利益率	21.68%	19.52%	1.44%	▲18.08Pt
経常利益	163,049	171,105	6,633	▲164,472
経常利益率	21.68%	20.26%	0.87%	▲19.4Pt
当期純利益	110,619	109,615	479	▲109,136
当期純利益率	14.71%	12.98%	-	▲12.98pt

3. 2020年3月期TOPICS ダイジェスト

トピックス

CMS関連事業

1

「infoCMS10」リリース

より使いやすく、そして管理しやすく。

企業・団体のWEB活用に必要なソリューションをぎゅっと詰め込んだ

新バージョンのオールインワン商用CMS『infoCMS10』をリリースしました。



2

Web&デジタルマーケティング EXPOに出展

2019年5月8日～10日に東京ビッグサイトにて開催された

「第13回Web&デジタル マーケティングEXPO【春】」に出展。

『infoCMS10』と『Q&Ai』のデモンストレーションにて
多くのご好評をいただきました。



AI関連事業

3

IT導入補助金の支援事業者認定

経済産業省の「平成30年度補正サービス等生産性向上IT導入支援事業」に当社がIT導入補助金の支援事業者として認定されました。今後ともみなさまの業務効率化・売上アップサポートの向上に努めてまいります。

4

「AIソリューション営業部」新設

AI関連事業におけるさらなる飛躍を目指し、専属営業部署『AIソリューション営業部』を新設しました。

5

「佐賀県産業スマート化センター」の サポーティングカンパニーとして登録

佐賀県工業技術センター内に2018年10月1日より開設された「佐賀県産業スマート化センター」のサポーティングカンパニーとして、当社が登録されました。サポーティングカンパニーとして、AIやIoTといった先進技術の導入・活用推進を支援してまいります。

AI関連事業

6

音声・テキスト解析AIプラットフォーム『Repotti』をリリース

ユーザーが音声やテキストデータで入力されたコンテンツやデータを AI が解析し、よりタイムリーに、より正確に、より簡単に、お客様の業務管理システム等のデータベースにインプットするプロセスオートメーションソリューションである「Repotti」をリリースしました。



7

Chatwork株式会社との販売代理店契約の締結および『Repotti』と『Chatwork』のシステム連携開始

ビジネスチャットツール「Chatwork」を提供する Chatwork 株式会社と販売代理店契約を締結するとともに、「Repotti」と「Chatwork」のシステム連携を開始しました。

販売代理店契約の締結により、両社のサービスおよび販売・サポート力を融合・補完するとともに「Chatwork」から音声やテキストで入力したデータを「Repotti」が文章解析や意味理解をおこない、あらゆる業務管理システムへインプットすることを実現します。



AI関連事業



8

サイボウズ社オフィシャルアライアンスパートナーへ加入 および「Repotti」と「kintone」のシステム連携開始

サイボウズ株式会社が提供するサイボウズ オフィシャルパートナープログラムの 1 つである、

「サイボウズ オフィシャル アライアンスパートナー」契約を締結すると共に、サイボウズ株式会社が提供する

業務改善プラットフォーム「kintone (キントーン)」

とシステム連携を開始しました。サイボウズ製品の

販売をはじめ、サイボウズ製品とのシステム連携が

可能となりました。システム連携では、スマートフ

ォン等のデバイスから音声やテキストで入力したデ

ータを「Repotti」が文章解析や意味理解を行い、

「kintone」へデータをインプットすることが可能です。



第4Q NEW TOPICS

9

シャノン社との業務提携契約を締結

10

サイボウズ・Chatwork・インフォネット
三社共同セミナー開催



シャノン社との業務提携契約を締結

マーケティングの統合データ管理・活用を実現するクラウドアプリケーションを展開する株式会社シャノンと製品の販売に関するパートナー契約を締結しました。

- ✓ テクノロジーの進化によるデータ活用の促進を背景に、**BtoBマーケティングにおいて日々注目が高まるマーケティングオートメーション**に着目しました。
- ✓ シャノン社との協業により、**WEBサイトを積極的に活用したマーケティング活動に対する企業のニーズに対応することが可能に。**

10

サイボウズ・Chatwork・インフォネット 三社共同セミナー開催

労働人口の減少や働き方改革が進んでいる中、企業や団体で最大のテーマとなっている**業務効率化**の解決策として、コミュニケーションを加速させる「Chatwork」と、情報を効率的に活用する「kintone」、そしてこれらを繋ぎデータ入力の効率を最大化させる当社のAI文章解析ツール「Repotti」をオンラインセミナーで紹介しました。

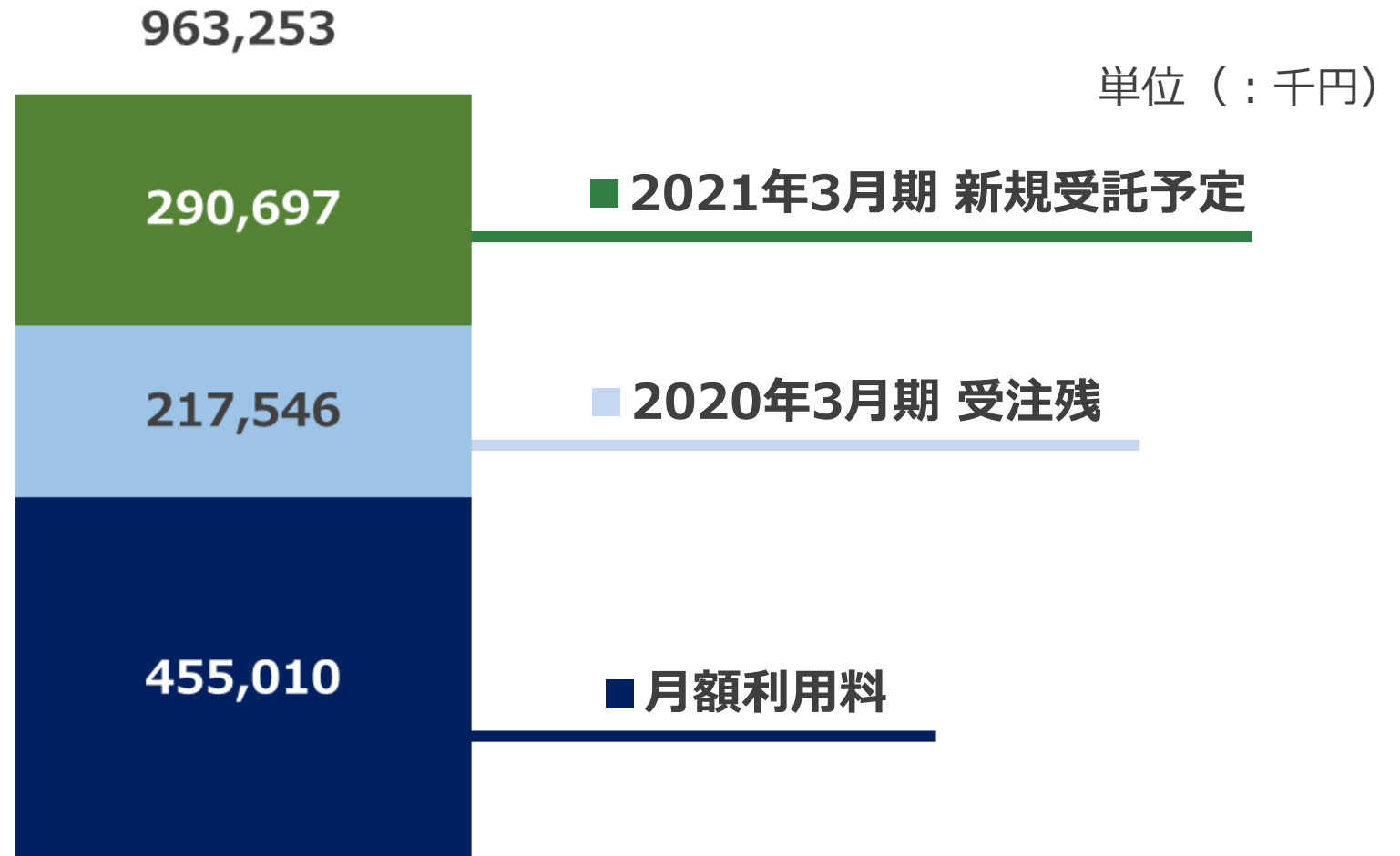
infoNet®

 Chatwork

 kintone

4. 2021年3月期の 事業活動について

売上高予算(2021年3月期)



4. 2021年3月期の事業活動について

予算達成のための主な取り組み

1

Chatwork、サイボウズ、シャノンをはじめとする各社との協業により、サービスおよび販売・サポート力を相互に強化していきます。

2

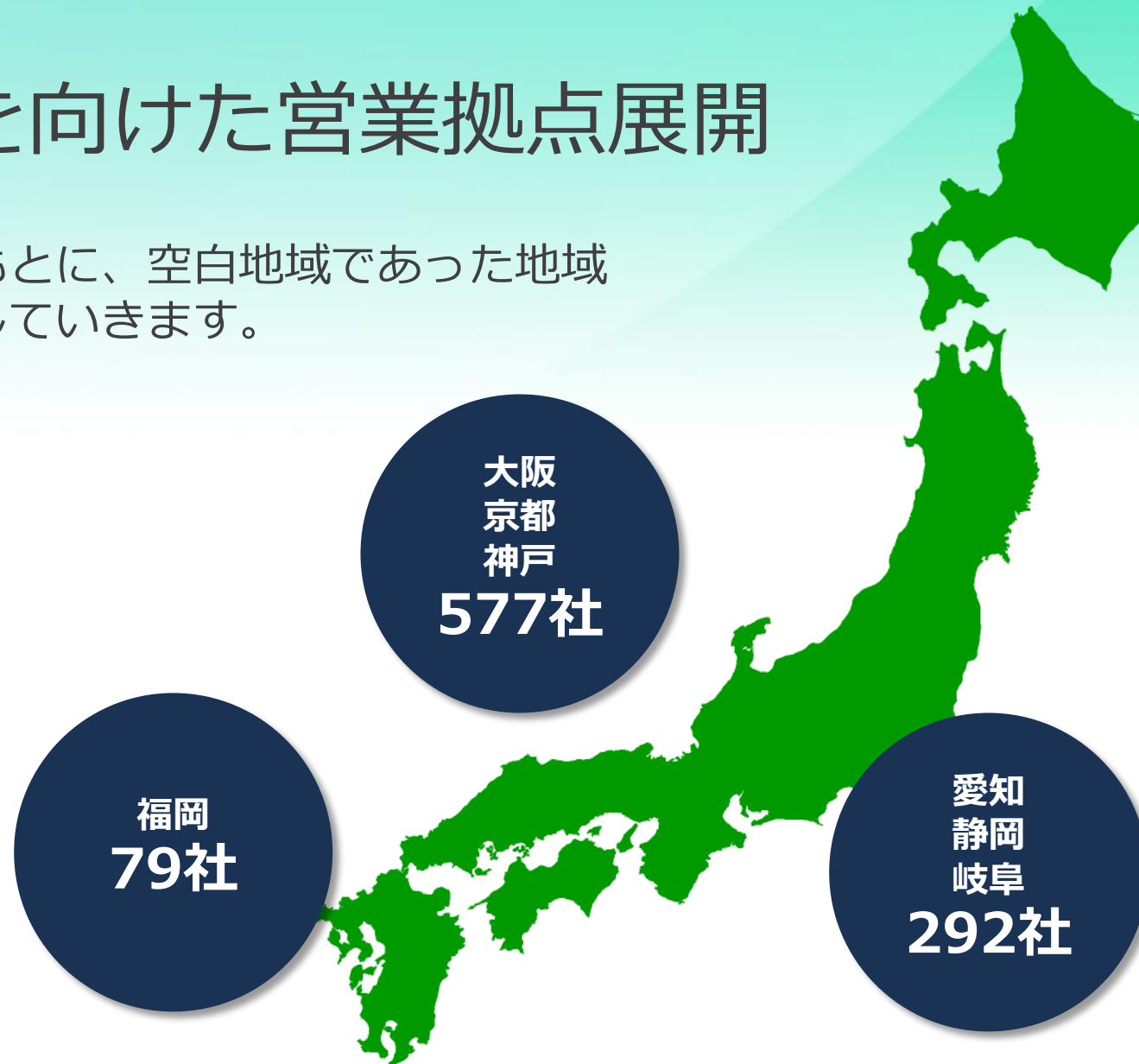
全国へ視野を向けた拠点展開を図り、営業範囲を拡大していきます。

3

M&Aや業務提携等によるソリューションの拡大と技術力の確保を図ります。

全国に視野を向けた営業拠点展開

全国の上場企業数をもとに、空白地域であった地域への営業展開を検討していきます。



※地域別上場企業社数

アニマルメディカ社とRepottiによる 医療現場の業務効率化実証実験の開始



緊急外科の症例や、夜間救急症例に対して24時間体制で対応している

ER動物救急センターに、音声入力AIレポーティングシステム「Repotti (レポッティ)」を導入。

従来は、獣医師がCT・MRI・超音波検査（エコー）などの画像診断の所見を、診療後にPCに向かってデータ入力していましたが、今回の「Repotti」導入により、画像診断中の所見がその場で音声入力できるようになり、また、「Repotti」のAI文章解析により、所見データを正確に迅速に電子カルテ等のシステムへ直接入力ができるようになりました。

- ✓ 多忙なERという医療現場での診療情報をその場でタイムリーに登録でき、
PCでのデータ入力業務を削減することで、獣医師の業務負担の軽減が可能に。
- ✓ より最適な医療提供体制の実現と、医療の現場における働き方改革の実現を目指します。

当社グループにスプレッドシステムズ社が加入 (子会社化)

高い技術力を背景に、フロントエンドエンジニアリング業務やディレクション業務を主軸に受託開発・SES等を請負うことで、数々の大手企業のWEBキャンペーンサイト及びアプリケーションサービスの開発に関与してきたスプレッドシステムズ株式会社の株式を取得し、子会社化しました。

- ✓ WEBキャンペーンサイトやアプリケーション開発、SESによる開発体制等、
安定的な収益が見込める事業がサービスラインナップに加わることで、
経営計画達成のための強固な収益基盤が築くことが期待できます。
- ✓ 高い技術力を有する開発組織や優秀な経営人材が参画することで、
相互の技術力の研鑽が可能になり、さらなる充実したサービス提供、事業規模の拡大、
企業価値向上を目指します。

5. 当社が向かう未来

成長戦略

WEB・CMSメーカーにとどまらない

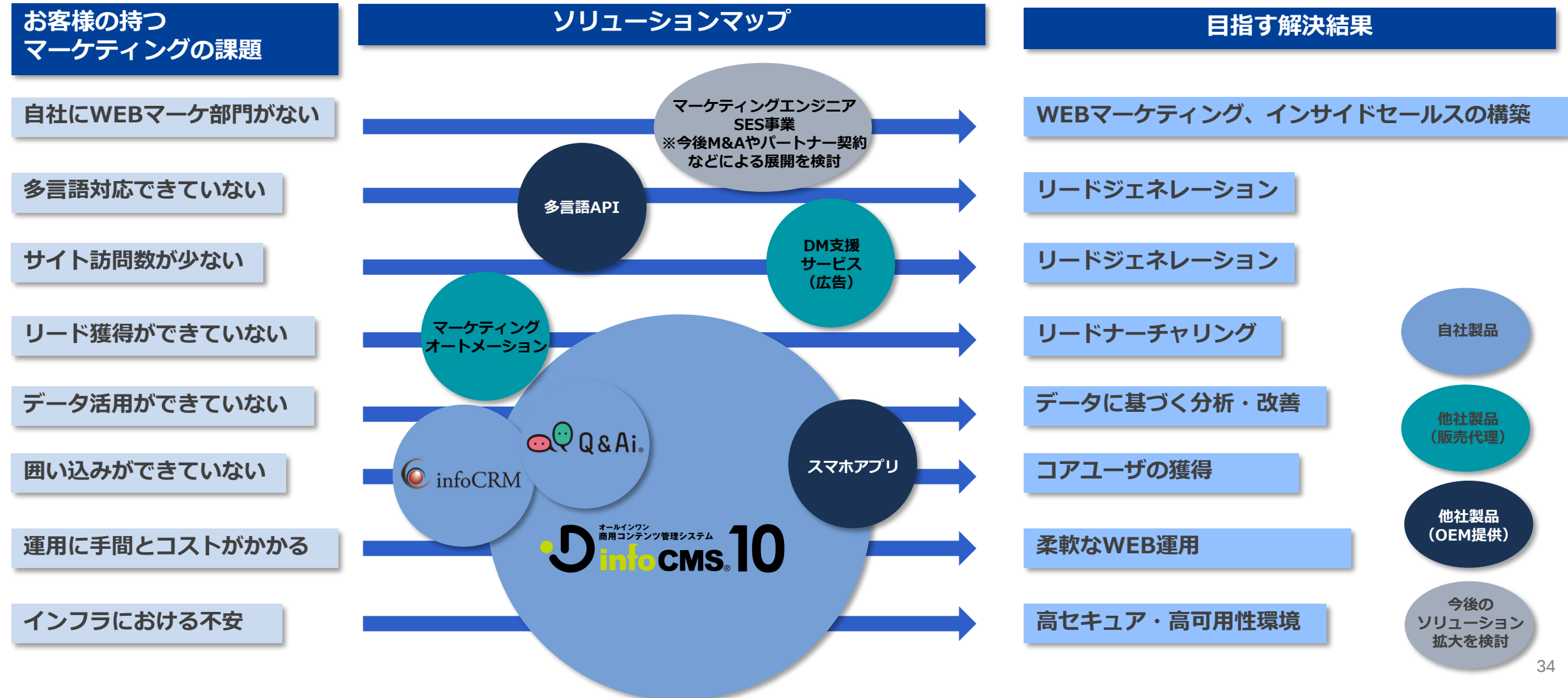
“WEBマーケティング支援カンパニー”

の地位確立を目指し、

DX戦略にもとづいた体制の整備、強化、合理化を

軸とした各種事業戦略を実施していきます。

WEBマーケティングに対するあらゆる課題に対応できるソリューション拡大を目指します。



6. ■ 当社が大事にしていること

ポリシー

企業憲章 Mission Statement

VISION

どのような会社でありたいか

いつの時代においても、社員がその家族に誇れる会社として存続し、
ひとりひとりの市場価値の向上により企業価値を相乗する会社となります。

MISSION

何のために仕事をしていくのか

すぐれたWEB・IT技術やプロダクトをお客様の成果に寄り添い提供することで
人々の生活を豊かにすることを使命とします。

STRATEGY

そのために何をすべきか

現状に甘んじることなく、ひとつ先の「あたりまえ」をつくりつづけます。

MISSIONである事業活動はもちろん、もうひとつ当社が大事にしていることがVISIONにあります。

社員が「働くこと」を大切な人生の一部として、自分にも家族にも誇れるように、さまざまな取り組みを行っています。

■働き方改革

リモートワークデモセッションプログラム（テレワークデイズ2019参加）

産休育休復帰率98%を誇り、多くの時短勤務社員が働く当社ですが、さらなる多様な働き方を模索すべく、総務省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、内閣官房、内閣府と、東京都および関係団体が連携し推進している「テレワークデイズ2019」に全社員がリモートワークを試験実施する形で参加。社員の体験を通し、本格導入に向けての課題の洗い出しなどを行いました。



新型コロナウイルス感染防止対策

社員及びお取引先様の新型コロナウイルス感染防止のため、緊急事態宣言に先駆け、2020年4月1日より全社員を原則在宅勤務とし、やむを得ず出勤する際にも通勤ピーク時間帯を避けた時差出勤を実施しています。テレワークデイズの参加などを通じてリモートワークの導入を検討していたことを活かし、大きな混乱もなくスムーズに全拠点・全社員のリモートワークが実現しています。

■インナーブランド スローガン



会社のさまざまなチャレンジを活用し、社員とともに成長したい。

当社において最も大切にしている「チームワーク」「団結力」「一体感」を社員全員で創造していきたい。

そのような思いから、「ALL! infoNet」を社内活動のスローガンに掲げ、FunProjectなどの活動を進めています。

■ FunProject

全社員参加型デザインコンペ

来客用飲料水ペットボトルのラベルデザインや、IDカードのネックストラップのデザイン案を全社員から募集し、採用されたデザインが実際に使われています。

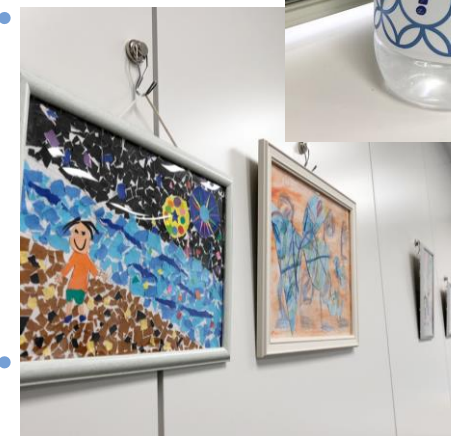
部署や役職を問わず、アイデアを表現する機会を平等に提供しそのアウトプットを尊重しています。



家族参加型お絵かきプロジェクト

社員のお子さまから自由なテーマで絵を募集し、集まった作品を会議室に掲示しています。

社員の日々の創造活動だけでなく、ご家族の協力も得て、クリエイティブな発想をいつも忘れないように心がけています。



リモートエクササイズタイム

2020年5月より実施

在宅勤務中の社員の健康増進のため、1日1回オンラインでのエクササイズタイムを設けています。

方言ラジオ体操やヨガ、ワークアウトなど、毎回異なるコンテンツを企画し、全社員とその家族が自由に参加可能です。

6. ポリシー 当社が大事にしていること

■ チームワーク・コミュニケーションの促進

オンライン全社会議

2020年4月実施

毎年3拠点の全社員が集まり実施している全社会議を、新型コロナウイルスの影響を鑑み、オンラインで実施しました。2019年度の振り返りを行うとともに、心を新たに全社員で新しい期のスタートを切ることができました。



もぐもぐランチ

2020年5月より実施

在宅勤務中の社員のコミュニケーション促進のため、毎日昼休みにオンラインMTGルームを開放し、社員同士が食事を取りながら自由にコミュニケーションをとれる時間を設けています。



バズミー (Buzz MTG)

2020年5月より実施

1日2回、社長と社員がオンラインでコミュニケーションをとる時間を設けています。
1回5名程度の少人数で、改善提案や企画のアイデアなど自由なテーマで意見交換をしています。

免責事項

本資料は、情報提供のみを目的として作成されたものであり、当社の有価証券の売買の勧誘を構成するものではありません。本資料に含まれる将来予測に関する記述は、当社の判断及び仮定並びに当社が現在利用可能な情報に基づくものです。将来予測に関する記述には、当社の事業計画、市場規模、競合状況、業界に関する情報、成長余力及び財務指標並びに予測数値が含まれます。将来予測に関する記述は、あくまでも当該記述がされた時点におけるものであり、将来変更される可能性があります。将来予測に関する記述によって表示又は示唆される将来の業績や実績は、既知又は未知のリスク、不確実性その他の要因により、実際の業績や実績は当該記述によって表示又は示唆されるものから大きく乖離する可能性があります。

当社は、財務上の予想値の達成可能性について明示的 にも黙示的 にも何ら保証するものではありません。

また、当社は、本資料の日付以降の事象及び状況の変動があった場合にも、本資料の記述を更新又は改訂する予定はありません。

本資料には、独立した公認会計士又は監査法人による監査を受けていない、過去の財務諸表又は計算書類に基づく財務情報及び財務諸表又は計算書類に基づかない管理数値が含まれています。

本資料には、当社の競争環境、業界のトレンドや一般的な経済動向に関する統計情報及び調査結果、外部情報に由来する他社の情報が含まれています。当社は、これらの情報に由来する情報の正確性及び合理性について独自の検証を行っておらず、いかなる当該情報についてもその正確性及び合理性を保証するものではありません。また、他社に係る事業又は財務に関する指標は、算定方法や基準時点の違いその他の理由により、当社に係る同様の指標と比較対照性が無い可能性があります。